



宮城の 頼れる弁護士

かの また よし はる
鹿又 喜治
(鹿又法律事務所)



それがもし法律問題でなかったとしても、
まず電話することから解決への道が始まります。

―弁護士を目指したきっかけを
教えてください。

学生時代、寒空の下、バイト先の赤坂TBS会館の辺りで身をこごめて靴磨きをしている60代のおばあちゃんを見たときに、このよ
うな人たちのために何かしたい、
と思ったのがきっかけでした。

―一生懸命頑張っているのになぜか報われない人を見ると、応援
したい気持ちになりますね。

―今、手掛けている仕事はどう
いった分野ですか？

普通の人の普通の事件、相続や離婚、売掛金、交通事故などの事件が多いですね。目先の損得ではなく、本当にその人のためになるような仕事を心がけています。

現在はB型肝炎訴訟の東北弁護団の団長をしています。これは集団予防接種の注射器の使い回しによって、全国に40数万人の感染者がいると推定されている人たちの救済をはかる訴訟です。訴訟による給付金請求という被害救済だけでなく、肝炎の治療制度の拡充などの恒久対策などにも取り組んでいます。

―プライベートでのお話などを聞かせてください。

仕事以外での楽しみ、ストレス解消は、次のようなものです。

・朝晩、愛犬(柴、雄、5歳)と散歩
をすること

・週一回程度、仲間とテニスを
すること

・休日、妻とのんびりとランチを
すること

・年に数回、50年来の仲間たちと飲
み会をすること

これ以外の楽しみがあったらそれはまた嬉しいですね。

―最後に、りらく読者へのメッセージをお願いします。

「サラ金からお金を借りていて、時効になってるのに払ってしまったり、車に傷をつけたことで脅されて、5万で済むところを100万取られた」そんな話を聞くと、相談してくれていたなら...と思います。

まずはお電話をくだされば、解決の光が見えてくるかもしれません。